

国立大学法人東海国立大学機構 (ヒューマングライコームプロジェクトにおける 連携・協力に関する覚書を締結)

【概要】

東海国立大学機構は、この度、自然科学研究機構並びに創価大学とともに生命科学の重要事業として、ヒューマングライコームプロジェクト（代表者：糖鎖生命コア研究所 所長 門松健治）を開始するため、本プロジェクトの連携・協力に関する覚書を締結しました。

締結に伴い、令和3年11月11日（木）に文部科学省記者会見室において、3機関による記者会見を実施しました。

糖鎖は、細胞表面やタンパク質に結合している糖がつながった構造であり、「ヒューマングライコーム」とは、ヒトの網羅的糖鎖情報を意味します。本プロジェクトは、ヒトの糖鎖情報をデータベース化し、国内外の研究者・研究機関に公開することで、次世代生命科学への飛躍的な発展と、医療・ヘルスケア革新の実現を目指します。

本プロジェクトは、科学技術・学術審議会が2020年9月に公表した「学術研究の大型プロジェクトの推進に関する基本構想ロードマップの策定 -ロードマップ2020-」に掲載され、東海国立大学機構の名古屋大学及び岐阜大学が共同で設置する糖鎖生命コア研究所、自然科学研究機構生命創成探究センター及び創価大学糖鎖生命システム融合研究所の3つの研究施設が連携し、中核となって推進します。

記者会見では、文部科学省の共同利用・共同研究拠点に認定された、上記3つの研究施設で構成する「糖鎖生命科学連携ネットワーク型拠点」についても説明するとともに、12月6日に実施予定のヒューマングライコームプロジェクト特別シンポジウムの開催についても紹介しました。



集合写真

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2021/11/12	中日	糖鎖の全容解明へ連携 東海国立大機構など3者覚書